

きれいなお口は、感染症予防の基本

歯と口の健康週間

6月4～10日

新型コロナウイルス感染症は収束のメドがまだ見えない状況です。去年の4月頃には、「歯科医院に行く」と新型コロナウイルスに感染する」と科学的には全く根拠のない噂がテレビやインターネット等で拡がり、歯科治療の受診を控える方もいらっしゃいました。最近では、新型コロナウイルス感染症に対する正しい知識の普及もあり、受診を控える方はほとんど見られなくなっています。

最新の知見として、新型コロナウイルス感染症と歯科の関係についてご紹介します。まず、ウイルスは人の特定の細胞を

乗っ取ることで増殖します。お口から入ってくる場合、「舌」や「のど」などお口の粘膜に付着し、そこから細胞内に入り込みます。新型コロナウイルスの表面には「スパイクたんぱく質」という突起が存在します。新型コロナウイルスの表面には「ACE2」という酵素に結合させて、細胞内に侵入していきます。お口の粘膜細胞内に入り込んだ新型コロナウイルスは、さらに奥深く血管や肺の細胞へと侵入し、増殖していきます。新型コロナウイルスに関しては、

研究が始まったばかりですが、お口の清潔度と感染・発症、重症化との関連は、清潔なほど感染・発症が抑制されるとの結果が明らかになっていました。ウイルス感染症の発症・感染を防ぐために、お口が清潔であることは重要と考えられます。

新型コロナウイルス感染症以上に、高齢者の命を奪うことが多い誤嚥性肺炎については、お口の清潔度と発症の関連がはっきりしています。誤嚥性肺炎は唾液や飲食物に含まれる細菌が誤って肺に入り込み、そこで繁殖して肺炎を起こしたものです。通常、唾液や飲食物は食道を通り胃にいりますが、飲み込みの筋肉が衰えた高齢の方で誤って気道に入ることによって発症します。予防には、「歯科

科医院での専門的な口腔ケア」とご自身のセルフケアが有効であることが明らかになっています。「口は災いの元」。感染症の予防にはお口の清潔が不可欠です。詳しくは、かかりつけの歯科医院でお尋ねください。

（鶴岡地区歯科医師会）

STOP COVID-19 新型コロナウイルスに対する最も大切な予防法は 口の中をキレイに保つことなんです！

ウイルスの体内への主たる侵入経路は「口腔」からです。

①口腔 → ②喉 → ③気道 → ④肺と侵入し発症に至ります。

健康な方の口腔内には「口腔粘膜の感染に対する抵抗性」があります。なので新型コロナウイルスに対抗する最も重要な感染予防対策は口腔内環境を良好に保ち、口から侵入してくる新型コロナウイルスを粘膜を経て体内に侵入させないようにすることにほかなりません。

「マスクをする」これは飛沫感染を防ぐため

「手洗いをする」これは手指を通じて口腔内へのウイルスの侵入を防ぐためでもそれだけでは不十分です！



これでウイルスの体内侵入への防御が完了です。

CLEAN
こんな時だからこそ、
より徹底した口腔ケアを！
CLEAN

日本歯科医師連盟